

衛生だより



平成31年度第3号（4月）発行

北部家畜保健衛生所
東部・北部家畜防疫獣医師会
〒287-0004 香取市岩ヶ崎台12-1
Tel : 0478-54-1291 Fax : 54-5996
夜間・休日緊急（転送されます）
(公社)千葉県畜産協会
〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3

愛知県で豚コレラの疑似患畜を確認 (国内19例目)

【概要】

発生農場 愛知県瀬戸市(13例目、15例目の移動制限区域内)

飼養状況 4,562頭

4月9日 農場から飼養豚が異常を呈しているとの報告を受け、
愛知県が立入検査を実施。

4月10日 精密検査の結果、豚コレラの疑似患畜であることを確認。

まだ出していない方へ

定期報告書の提出をお願いします！



提出期限は4月15日となっております

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、添付書類とともに
北部家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしくお願い致します。
報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所にご連絡下さい。

※23年度より、家畜伝染病予防法が改正され、飼養状況について
年1回、都道府県知事への届け出が義務づけられております。

北部家畜保健衛生所

Tel.0478-54-1291

Fax.0478-54-5996

夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。

～新年度 所長 あいさつ～

平素より家畜保健衛生所業務の推進に御理解御協力をいただき心より御礼申し上げます。4月から芦澤所長の後任となりました青木です。どうぞよろしくお願いいたします。

家畜衛生に関して、牛では今年度から4年に1度の定期検査がヨーネ病検査のみとなり、死亡牛のBSE全頭検査の対象も96か月齢以上に縮小されます。一方で生産性に悪影響を及ぼす牛ウイルス性下痢症やEBL対策が重要度を増しています。

家きんでは、昨年度は国内では幸いにも高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の発生はありませんでしたが、アジアやヨーロッパの一部の国では3月にも複数種類の亜型ウイルスによるHPAI発生があり、まだ油断できない状況です。

豚では、昨年9月に岐阜県で国内では26年ぶりに豚コレラが発生、岐阜・愛知県を中心に現在までに19例の発生が確認されています。中国をはじめとするアジア地域で大流行中のアフリカ豚コレラについても、当国から違法に持ち込まれた豚肉製品から感染性のあるウイルスが検出されており、口蹄疫同様、対岸の火事では済まされない状況です。また、本県では豚流行性下痢が5年ぶりに流行し、現在勢いは弱まってきたもののまだ終息には至っていません。

このように家畜衛生を取り巻く状況が厳しい中、当所では各種疾病サーベイランス、病性鑑定、農家巡回、徴求報告等の疾病監視体制を強化するとともに、国内の伝染病発生等に関しては迅速に情報提供を行ってまいります。

家畜伝染病を発生させないためには、導入畜の隔離観察、野生動物等の侵入防止、人や車による交差汚染防止など徹底した侵入防止対策が必須です。当所からは、家畜伝染病の発生予防を目的に、飼養衛生管理基準の徹底や衛生状況の把握のため、農場への訪問や電話連絡をさせていただくことがあります。お忙しい中とは存じますが、御協力くださるようお願いいたします。

これからも、印旛・香取地域の畜産を家畜衛生の分野から支えて参る所存ですので、よろしく申し上げます。

北部家畜保健衛生所長 青木 ふき乃

平成31年度 北部家畜保健衛生所新体制

所長：青木 ふき乃☆

次長：武石 佳夫

衛生指導課

課長：笠井 史子☆
副主幹：成毛 弥生☆
上席専門員：関野 友利華
専門員：中代 浩之
主任技師：青木 朋子
技師：佐々田 由美子☆
技師：中村 みどり☆

防疫課

課長：木下 智秀
専門員：菅 賢明
技師：平木 崇☆
技師：渡邊 世奈
技師：岩間 亮祐

(☆転入者)

転出者：芦澤 尚義、小川 明宏、江波戸 政宏、稲毛 幹雄、末政 奈津美

本年度も引き続き宜しくお願い致します